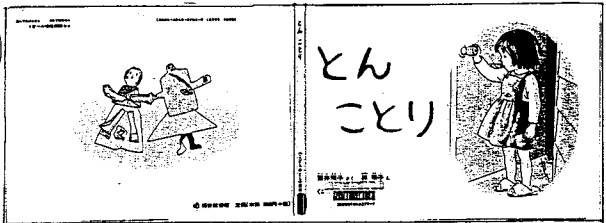


子どもたちといっしょに 福音館書店

「とんことり」 筒井頼子 さく  
林 明子 え

今回は、上のお二人がコンビで作られている絵本を紹介です。



日常のどにでもある子どもたちの生活や心理を書きあげている作者。それに、抱きしめたくなるような余念をつけている画家。絵本は、文章と余念が、5分5分に勝負し得る世界です。「とんことり」……やまのみえまちに引っこしてきたかたなえにあたらしいおともだちができるまでのおはなしです。最後の頁からは、二人の笑い声と、爽やかなる風が吹いてきます。本当です。「いもうとにゆういん」……あさ之が、いもうとにゆういんによって、けなげにも、おねえさんになるまでを、表情豊かに描いています。かわいくて、涙がこぼれてしまう程です。「はじめてのおつかい」……誰もか経験したことがあるはじめてのおつかい。子どもの心理をよくとらえていて、見事です。このほか「あさ之とちいさいいもうと」「おでかけのまにに」「おいていかないで」があります。

ユキタマノイノカトコロヘナハナノカガソビニキマシタ

2月の行事

2 (土)	おはなし会 3:00~
3 (日)	見びな手づくりの会 1:30~4:00
4~18 (月)	蔵書点検により休館しす
20 (水)	絵本のじかん 3:00~
23 (土)	おはなし会 10:00~
24 (日)	おはなし会 3:00~
24 (日)	第16回読書会「天のある人」
27 (水)	絵本のじかん 3:00~

第16回読書会「天のある人」(河出書房新社)

池内紀 著 二十三の物語がおさめられている短篇集です。書名からテーマは「顔の顔」だそうです。ご参加下さい。



2月24日(日)  
1:30~3:30  
1F-42  
しろね図書館  
しろね図書館友の会  
(共催)

初体験が緊張しました。子供の純な瞳がとってもきれいでした。今日の此時を生涯の想い出として大切にしていきたいと思います。振ってください。ありがとうございます。(S読者)

大人のお客様が多かった中に1人の幼子に救われたよ。絵本のじかんおはなし会部屋で記録ノートか自分の叫ぶ音まで響きあはしたと思いたく思いました。(K読者)

とても可愛い絵本を読みました。子どもの本の世界って、大人でもほんとうに心がいやされるというか、読みながら私自身が幸せでした。(H読者)

今の時代、お互いをいたわり助けあう心から残念に思っていますか。今日読んだ絵本のテーマ(心のつながりを求めて)のように、一人でも多くの子供共達が心の成長を願う一冊です。(T読者)

1ヶ月ぶりに「おはなし」をしました。子どもの数が久しぶりに多くうれしかったです。これから、がんばっていきまいたいです。(M読者)

子供達が、熱心に聞いてくれて、感心し嬉しかったです。図書館に来てくれるおはなしのしつけは安心しました。(K読者)

# しろね図書館だより



発行 白根市立図書館  
No. 21  
平成14年2月1日

ご利用ありがとうございます。ご不自由をおかけしますが、2月4日(月)から2月18日(月)まで、蔵書点検をするため、休館いたします。一年に一度、当図書館のすべての蔵書が、正しい位置に置かれているか、所蔵の正確な確認、修理の必要があるかどうか、などを調べます。休館中のご返却は、CD、ビデオ以外は、ブックポストに入れて下さい。2月19日(火)からのご利用を、お待ちしております。

1月の  
来館者 ----- 10,595人  
貸出冊数 ----- 13,183冊  
予約件数 ----- 183件  
1月は、天候の良い日が5日位ありました。その日は、ご利用者も多くにぞういしました。早く暖くなればいいですね。

リクエスト情報 (しばらくお待ちください)  
1位・ハリーポッターと賢者の石 (24人)  
2位・ハリーポッターと秘宝の部屋 (24人)  
3位・ハリーポッターとアズカバンの囚人 (15人)  
4位・千と千尋の神隠し (10人)  
5位・ドリムバスター (6人)

3月の予告

3月2日(土)の「おはなし会」はゲストにALTのデアナ・ウエストさんを迎え、英語版と日本語版の絵本「どろんこハリー」です。お楽しみに!

3月17日(日)の第17回読書会は、久々の児童文学で、あの「クワバート」です。一生に一度は、出合えて欲しい本です。是非、ご参加を!

3月18日(月)ラスベックホールにて白根高校一年生の公開演奏があります。内容は「鐘に響いたブックワーク」と「ルート演奏」です。どなたでも参加できます。詳しくは、次報で。

3月1日(金)からまたブックバスが運行します。楽しみにお待ちしております。



図書館からのお願い  
図書館の休館日は、2月の蔵書点検と、年末年始をのぞいて、毎週月曜日と、毎月の最後の日(月末日)です。  
もし間違えて休館日に本を返しにお出の時は、本はブックポストに、CD・ビデオは、お持ち帰りいただいた開館時にカウンターにお返し下さい。それが不可能な時は、学習館受付にご相談下さい。

二十世紀  
敗北を抱きしめて 上  
敗北を抱きしめて 下  
この地球を受け継ぐ者へ  
Q&A経済のしくみ100の常識  
未来のたね  
河合雅雄の動物記 1  
河合雅雄の動物記 2  
いのちのえほん  
宮崎駿の世界  
泣く大人  
ほんん  
まだ17歳だけど、人生って面白いと思う  
床下の小人たち  
人食い  
みなみのしまのウッチャチャ  
うまやのそばのなたね  
まほうのマフラー  
ふしぎ?おもしろてじなっこ  
いっばいっばい  
はいたかのふゆ  
みんなおなじでもみんなちがう  
ふしぎなほこ  
にん者とうがん太郎  
ぼくらのまちなんだってあるまち  
いろいろいろいろ  
いっばいっばい  
はじめてふったゆきのひに  
イルカの島  
コウテイペンギン撮影記  
みちかなとりのずかん  
くんくんおおいしろう  
ほたるのおしりに火がついたわけ  
わたしのラスト  
まゆとおかっぱ  
樹のおつげ  
かさみどりのフィットチーネ

橋本 治|著  
ジョン ダワー|著  
ジョン ダワー|著  
石川 直樹|著  
小塩 隆士|著  
アイリック ニュートン|著  
草山 万免|著  
草山 万免|著  
司 修|著  
切通 理作|著  
江國 香織|著  
乙武 洋匡||著  
岩瀬 大起|著  
メアリー・ノートン||著  
クラウス コルドン|著  
おおとも やすお|著  
新美 南吉|著  
あまん きみこ|著  
佐伯 俊男|著  
風木 一人|著  
手島 圭三郎|著  
奥井 一満|著  
長谷川 孫子|著  
清水 達也|著  
マルセロ ジャヴィエル|著  
新谷 雅弘|著  
風木 一人|著  
パウロ カンボス|著  
宇津 孝|著  
内山 辰|著  
大島 英太郎|著  
阿部 知暁|著  
セサレオ デ アルメリヤダ|著  
降矢 なな|著  
富安 陽子|著  
ラフカディオ ハーン|原著  
古山 浩一|著

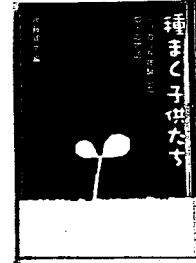
毎日新聞社  
岩波書店  
岩波書店  
講談社  
日本経済新聞社出版局  
日本放送出版協会  
フレーベル館  
フレーベル館  
群馬県  
筑摩書房  
世界文化社  
講談社  
ポプラ社  
岩波書店  
さえら書房  
福音館書店  
につけん教育出版社  
ポプラ社  
福音館書店  
福音館書店  
リブリオ出版  
福音館書店  
福音館書店  
あかね書房  
新世研  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
新世研  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
新世研  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店  
福音館書店

~図書館員がおすすめするこの一冊~

『種まく子供たち』小児ガンを体験した七人の物語 佐藤律子 編(ポプラ社)

この本は現在放送中、TBSドラマ「3年B組金八先生」で紹介されました。これがきっかけで私はこの本に出会うことになりました。この本を書かれた佐藤律子さんは小児ガンで息子さんを亡くされて、同じように苦しんでいる子供たちをなにかの形で応援したいという思いから小児ガンの体験談集をまとめられました。

本書のなかでは、ひろはまかずとしさんの言の葉がそれぞれの言の葉と共に収められています。私は、ひろはまかずとしさんの言の葉が好きだったので、なおのこと心に響きました。



・いまの自分が一番好き  
そういう生き方ができた  
いいんだよ

・いっしょに歩ければいい  
泣ければいい 笑えればいい  
それだけでいい

(ひろはまかずとし 言の葉)

闘病している子供たちは、世の中にたくさん「種」をまきつけているのだそうです。元気の種、勇気の種、思いやりの種……。確かに現実の自分と向き合い、それとともに病気と立ち向かう子供たちは「種」をまいているのだと思いました。旅立っていった子、病気に打ち勝った子は家族、友、医師、出会った人達すべてに感謝し、こうして存在していただける幸せを感じています。私には子どもたちの「ありがとう、ありがとう」の言葉が胸に重く沈んでいきました。彼らの心にはしっかりと種が成長し、芽がでている！読んだ事でいのちの大切さを教えられただけでなく、生きていく力をもらった気がします。

私も心の種を育ててみよう。みなさんの心にはひと粒の種が育っていますか。  
種が届きますように...

(ティーン 916夕) [司書 大野恵子]

第十五回読書会「美しい恋の物語」

ちくま文学の森1(筑摩書房)

平成十四年一月二十日(日)

快晴の日曜日、越後三山をはじめとして雪を頂いた山々の美しさは、ことの他であった。

秋枝 「何て美しい山々でしょう。あの山を眺めながら話しましょう」

辰也 『美しい恋の物語』という題名のイメージからは、少し違って、やるせない恋の物語ばかりでしたね」

春子 「本当に悲しいものばかりでしたね」  
秋枝 「アンデルセンのものは、"マツチ売りの少女"のように夢の中で幸せになって死ぬんですね。だからちよっと救われますけれど」

春子 「人を好きになって、それがいつの間にか他の人たちに知られてしまっているのは、厭ですね」  
辰也 「そういうのって、端から見ている、わかるものなんですよ」

秋枝 「忍ぶ恋というものは、辛いものなんです。それが、美しい恋なんですよ」  
春子 「ずっと心の中で思い続けているって、いいですよ」

辰也 「いいけれど、切ないですね。菊池寛の『藤十郎の恋』は、すごかったですね。映画で観たことがあるけれど、短編なのにすごかった」

秋枝 「短編集って、読書会の際は読み易いですね。好きなものから拾って読んでいけるし」  
春子 「私も、最初の『燃ゆる類』がちよっとと思うものだったの、あとはこれとと思うものから読みました」

秋枝 「私も、あの作品は堀辰雄の作品にしては、えっ?って思いました」  
辰也 「モーパッサンの『未亡人』も怖かったですね」

春子 「そう、十三歳の少年が、かなわぬ恋のために自殺してしまふんですね。それで、その相手の主人公もずっと独身をとおす」

辰也 「作者のモーパッサン自身、自殺しているんですよ」  
秋枝 「人を想うってことは、本当に大変なことなんです」

春子 「以前、『初恋』についての話題が出ましたよ。何歳の頃かなって」

秋枝 「人それぞれで、初恋というものは殆どかなわないのではないのでしょうか」  
春子 「そうですね」

辰也 「ごく幼い時のものが、初恋という人もあれば、もの心ついた時のものをいう人もあり、誰もが経験するものですね」

秋枝 「本を読む時、急ぐ時は人の会話を追っていくと、大体はつかめるんですが、今回、最後の戯曲は何故か読めませんでした」

春子 「私も『なよたけ』は、読めませんでした」  
辰也 「同じくです。時間がなかったのもありますが、次回は一人の作者の短編集です。」

秋枝 「そして、三月は久々の児童文学ですね。長編なんですすよね」

辰也 「でも、とつても面白いので、早めに読み始めていただくといいですね」